

# Panasonic JAGUAR RACING

2020年8月18日

## パナソニック・ジャガー・レーシング、フォーミュラE選手権第6～11戦 総合7位で今シーズンを終了し、早くも次戦を見据えて始動



- ABB FIA フォーミュラ E 選手権 2019/2020 シーズン第 6～11 戦がドイツのベルリンで開催
- 158 日ぶりに開催されたレースは、9 日間で 6 レース実施のスケジュールで、12 チーム 24 名のドライバーが参戦
- ミッチ・エバンスは、後半ポイントを確実に獲得しながら上位を目指すも、最終のドライバーズ・ランキングは総合 7 位
- ジェームス・カラドは、トラブルに見舞われ実力を発揮できず、ドライバーズ・ランキングは総合 19 位
- 第 10 戦と第 11 戦に出走したリザーブ・ドライバーのトム・ブロンクビストは、各レースを 12 位、17 位でフィニッシュし健闘
- チームは総合 7 位でシーズンを終了し、ミッチ・エバンズとサム・バードという最強のドライバーを揃え、次なるレースに向けて活動を開始

2020年8月5～13日ドイツ、ベルリン発：パナソニック・ジャガー・レーシングは、ベルリンのテンペルホーフ空港跡地のサーキットで 4 か月ぶりに開催された ABB FIA フォーミュラ E 選手権 2019/2020 シーズンファイナル(第 6～11 戦)に参戦しました。

久々のレースとなった第 6 戦では、序盤は静かな滑り出しを見せたものの、終盤にかけては激しい展開となりました。ミッチ・エバンズは後半にエドアルド・モルタラ(ROKIT VENTURI RACING)に接触後マキシミアン・ギュンター(BMW i アンドレッティ・モータースポーツ)がジャガー「I-TYPE 4」に衝突し、ポイント獲得を逃します。一方ジェームス・カラドは、テクニカル問題により 2 回の練習走行が犠牲となってしまいます。さらに万々に備えてパワートレインを交換したことで、24 位からのスタートと 10 秒のストップ&ゴーの降格ペナルティを受けます。カラドはそれでも巻き返しを図り、順位を 9 つあげて 15 位でフィニッシュしました。

# Panasonic JAGUAR RACING

第 7 戦では、ファンやチームパートナーの応援、そしてジャガー・ランドローバー社員の後押しもあり、ミッチ・エバンスが個人そしてチームとしても初となるファンブーストを獲得しました。しかしながらジャガー・レーシングにとっては厳しい戦いが続き、17 位から浮上したミッチ・エバンスは 12 位でフィニッシュしてポイント獲得を僅差で逃しました。予選 22 位からのスタートとなったジェームス・カラドも苦戦し、テクニカルな違反によりドライブスルー・ペナルティを受け、この日は 20 位でフィニッシュしました。

第 8 戦、クオリファイ・セッションでミッチ・エバンスよりも高い順位につけたジェームス・カラドは、絶好のチャンスに恵まれましたが、アレクサンダー・シムス(BMW i アンドレッティ・モータースポーツ)とセツテ・カマラ(GEOX レーシング)の接戦に巻き込まれ、ジャガー「I-TYPE 4」は致命的なダメージを受け、リタイヤを余儀なくされます。一方、積極的な攻めの姿勢を見せてレース最速ラップを記録したミッチ・エバンスは、19 位から 9 位へと大きく順位を上げ、チームに貴重なポイントをもたらしました。

第 9 戦、ミッチ・エバンスはスーパーポールをわずかに 0.15 秒差で逃したものの、7 位に入賞しポイントを獲得し、ドライバーズ・ランキングを 6 位にまで押し上げました。ジェームス・カラドも予選のパフォーマンスが向上させ、レース中は車体のバランスに苦戦しながらも、一時は 12 位まで順位を上げ、最終的に 17 位でのフィニッシュとなりました。

第 10 戦、FIA WEC 世界耐久選手権に出場するためベルリンをあとにしたジェームス・カラドの代わりに、リザーブ・ドライバーであるトム・ブロンクビストが出走し、スーパーポール・シュートアウト・セッションに出場しジャガー・レーシングのメンバーとして素晴らしいデビューを飾りました。決勝レースでは第 6 グリッドからスタートしてレースの大半をポイント獲得圏内で走行するも、12 位でフィニッシュとなりました。ミッチ・エバンスは、13 番グリッドからスタートとなるも堅調に順位を伸ばし、7 位でフィニッシュしてポイントを獲得しました。

第 11 戦、ミッチ・エバンスは 23 位からスタートしましたが、持ち前の走りで 12 個も順位を上げ、11 位でフィニッシュし、最終のドライバー・ランキングは 7 位となりました。チームメイトのトム・ブロンクビストはパナソニック・ジャガー・レーシングで 2 戦目ながら果敢な戦いを見せ、予選で有望な 12 位からのスタートとなり、17 位でフィニッシュしています。今シーズン前半は、メキシコシティで圧倒的な力を見せてフォーミュラ E の 2 度目の優勝を飾り、サンティアゴでも表彰台に上るなど、パナソニック・ジャガー・レーシングとミッチ・エバンスにとって好調でした。

ジャガー・レーシングの次の戦いは 2021 年 1 月 16 日にチリのサンティアゴで開催する ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 7 となり、ミッチ・エバンスと、複数のレースで優勝歴を誇るサム・バードがジャガー「I-TYPE 5」で参戦します。

## ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

「最終レース、23 番グリッドから 11 位までの大きな追い上げでした。せわしない戦いでだいぶ疲れを感じています。私もチームもできる限りの最善を尽くしました。もし最後の 6 レースが、自分にとってもジャガー「I-TYPE 4」にとっても得意なメキシコで開催されていたら、と考えてしまいます。上位を狙える順位でベルリン戦に臨んだだけに残念ですが、来年はもっと強くなって戦いに臨みます。応援してくださった皆さん、ありがとうございます。来シーズン、またお会いしましょう。」

# Panasonic JAGUAR RACING

## ドライバー、トム・ブロンクビストのコメント:

「ベルリンでの戦いは非常に接戦でタイトでした。フォーミュラ E の実戦経験は不足していますが、参戦できたことは嬉しく、よい時間でした。パナソニック・ジャガー・レーシングからもらったこのチャンスにとっても感謝しています。数週間前には予想もしていなかったのに、トラックに戻れたことを非常に嬉しく思います。走れたことは光栄で、またとても楽しむことができました。」

## パナソニック・ジャガー・レーシング・チームのディレクターであるジェームズ・パークレーのコメント:

「シーズン 6 は最終レースも困難なものとなりました。ミッチは順位を 12 位上げ、上位 10 位にあと少しのところまで迫るなど、素晴らしい活躍をしました。当チームのレースのペースは素晴らしいものでしたが、入賞を狙うには差がありすぎました。

残念ながら今回もまた、ここベルリンの全 6 レースと同様に、予選システムの犠牲となりました。非常に速いマシンを持っていることをお見せできただけに、チームにとっては悔しい結果です。トム・ブロンクビストは急な参戦にも関わらず、予選で素晴らしい走りを見せ、ゴールしてくれたことにとっても感謝しています。

特に、ここベルリンと英国にいるチーム全員が、今回の完全には報われない戦いの中、素晴らしい働きを見せてくれたことに感謝します。シーズン 6 ファイナルのベルリンでの開催に尽力されたフォーミュラ E と FIA の皆さんにも感謝します。関係者の方々の体制や決意は素晴らしいものです。

チームとしては、ここベルリンでの戦いは不利だったと感じていますが、メキシコシティでの圧倒的な勝利、サンティアゴでのポールポジション獲得、当チームが特にマラケシュで見せた俊敏な走りなどを前向きに捉えたいと思います。

この結果は当チームの素晴らしいコマーシャルパートナーの協力がなければ成し得ませんでした。パナソニック、Viessman、Castrol、GKN に感謝します。当チームはすでにシーズン 7 に向けて準備を進めており、表彰台と優勝を狙う決意を新たに、ミッチ・エバンスとサム・バードが 2021 年 1 月のチリ サンティアゴ戦に挑みます。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2020 年 8 月 5 日～13 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

## エディターズ・ノート

### パナソニック・ジャガー・レーシングについて

ジャガーは 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。2019 年、パナソニック・ジャガー・レーシングはローマ・グランプリで初優勝を果たし、これは、ジャガーが国際的なモータースポーツイベントで勝利を飾った 1991 年以来初となります。

ジャガーにとってフォーミュラ E は、電動化の未来を加速させるための現実世界のテストベッドです。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、パナソニック・ジャガー・レーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計していますが、コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 12 チーム共通となっています。これにより、未来のジャガー・ランドローバーの電気自動車のパフォーマンスと可能性を向上させる、効率的で軽量のパワートレインの開発に焦点を絞ることができます。

# Panasonic JAGUAR RACING

フォーミュラEレースマシン「Generation 2」の使用は今回で2シーズン目を迎えました。各チーム、ドライバー1人につき1台で、レースを戦います。

フォーミュラEは、電気自動車によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界において開催地の選定に関してもユニークです。選手権は世界的大都市を舞台に、特設の公道サーキットで開催します。

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- YouTube: <http://www.youtube.com/JaguarCars>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarRacing>
- Instagram: <https://www.instagram.com/JaguarRacing>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00~18:00、土日祝日を除く)